

授業科目 (ナンバリング)	ホスピタリティ演習Ⅱ (N4A302)			担当教員	早川 正信・黒川 健児・山口 拓・ 神田 紘介・藤井 佑樹・ 山田 耕平・末廣 真理恵		
展開方法	講義・演習	単位数	0.5 単位	開講年次・時期	3 年・前期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
「ホスピタリティ演習Ⅱ」では、①医療人としてのホスピタリティ、研究倫理、使命感の修得。 ②学生の自主性と連携の養成を通じ、薬剤師としての資質を醸成する。							①④⑥⑪⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力							
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	スモールグループディスカッションを通じて主体性を持って学習すると共に、学んだ知識を分かりやすく説明できる。病院・薬局における患者とのコミュニケーションを持てる。				授業態度・ 発表・レポート	40%	
協働・課題解決力	スモールグループディスカッションにおいて、連携・役割分担が行える。東洋医学の考え方を理解し説明できる。薬学者による研究に関心を持てる。				授業態度・ 発表・レポート	30%	
多様性理解力	患者の基本的権利と自己決定権を尊重し、患者・家族・生活者の心身の状態に配慮できる。ヒトの健康の維持に積極的に貢献することへの責任感を持てる。				授業態度・ 発表・レポート	30%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>薬剤師の使命、研究倫理に関しては授業形態をとり、授業態度、レポートに関してルーブリック評価を行う。薬学研究・教育者へのキャリアパスは講演内容に関するレポートを評価する。寄付講座では、講義と体験学習に関するレポートを評価する。ホスピタリティの評価はレポートをもとに行う。課題レポートのフィードバックは講義中に行う。評価割合は、ホスピタリティ 30%、寄付講座 20%、薬剤師の使命 20%、研究倫理 20%、薬学研究・教育者へのキャリアパス 10%とする。</p>							
授業の概要							
<p>薬剤師の使命、研究倫理に関しては授業形態をとり、SGD 後にグループ発表を行う。寄付講座においては、東洋医学による未病改善の提案ののち、薬膳グラノーラ WS 等の 5 項目の体験学習を行う。研究教育者へのキャリアパスでは、外部講師の講演と質疑応答を行う。学習の過程においては学生間の学び合いを推奨する。ホスピタリティは配布資料とパワーポイントの資料をもとに講義を行う。この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、45 分である。</p>							
教科書・参考書							
教科書、参考書、指定図書：別に指示する。							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>医療人としての志を立て、倫理(ルールや規範)を身に付け、日々の誠実な学びによって豊富な知識・知恵を修得し、卒業後には修得した学術を実行し、社会に貢献することが肝要である。幕末の指導者である佐藤一斎はこれを「立志」「励行」「遊芸」と教えている。将来、医療の現場で業務する自分をイメージして、真摯に取り組んで欲しい。ホスピタリティとは「思いやりの心」のことであり、ホスピタリティ・マネジメントとは、医療従事者が持つ思いやりの心を伝え合う「仕組みづくり」のことを表す。ホスピタリティ・マネジメントを医療現場で構築・実践できる医療人を養成する。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習	到達目標番号*
1	ホスピタリティ ※4 限	「ホスピタリティ」実践授業の進め方と内容 : オリエンテーションと講義の進め方(早川)	講義内容及び講義資料の復習	34-37、41-51
2	ホスピタリティ ※5 限	「ホスピタリティ」の理解と教育の現状 : ホスピタリティ教育がどのように行われているか (早川)	講義内容及び講義資料の復習	34-37、41-51
3	寄付講座 (回生薬局)1 ※4 限	東洋医学による未病改善の提案: 体験内容の説明 (ゲストスピーカー・実務家: 平野智也、藤井他)	予め与えられた資料を読んでおく。	2、4、13、109
4	寄付講座 (回生薬局)2 ※5 限	薬膳グラノーラWS、太極拳、お灸、ヨガ、薬草風呂作りWSの5つを体験 (平野智也、藤井他)	予め与えられた資料を読んでおく。	2、4、13、109
5	薬剤師の使命 1 ※4 限	医療の担い手としてのこころ構えとコミュニケーション (ゲストスピーカー: 宮本・早川・神田・黒川・山口・山田・末廣・外部講師)	予め与えられた課題を読んでおく。	1-3、8
6	薬剤師の使命 2 ※5 限	スモールグループディスカッション (SGD) による振り返り (実務家・教員同上)		
7	研究倫理 1 ※4 限	ヒトを対象とする研究活動に求められる態度 (ゲストスピーカー: 福島、早川・神田・黒川・山口・山田・末廣)	予め与えられた課題を読んでおく。	40、83
8	研究倫理 2 ※5 限	スモールグループディスカッション (SGD) による振り返り (実務家・教員同上)		
9	薬学研究・教育者へのキャリアパス ※4 限	薬学研究・教育者へのキャリアパスに関する講演とディスカッション (ゲストスピーカー: 尾崎・住谷、黒川・山口・山田・末廣)	指示に従ってレポートを提出する。	1062, 1064
10	ホスピタリティ ※5 限	「ホスピタリティ」実践教育へのアプローチ : ホスピタリティの実状 (早川)	講義内容及び講義資料の復習	34-37、41-51

注) 上記の第1回～第10回は、授業の概要を示したもので、講義の順番は変更される場合があります。

\*到達目標番号と到達目標の対応は、大学 HP 掲載のコアカリ SBO 番号/項目対応表を参照して下さい。